

野田 九条通信

2018年 6月 150号
野田・九条の会 事務局
04-7122-0502
野田・九条の会



検索

平和のつどい・2018に向けて

憲法や戦争のこと しっかりと伝えたい

五月四日平和のつどいのプレイベントとして行われた講演「ピースパレードのだ・2018」には約80人の市民が参加しました。パレードに先立ち、武器輸出反対ネットワーク代表の杉原浩司さんが講演。安倍政権が武器輸出三原則を撤廃し、「防衛装備移転三原則」を打ち出し国策として武器輸出を進めている。このままいけば死の商人になってしまふ、と訴えました。その後檉のホールまでシユプレヒコルをしながらパレードをしました。沿道では昨年より多くの市民が外に出てきてくれて、「ほんとは安倍政治はおかしいよ」と一緒に歩いてくれた人もいました。

今年の平和のつどいは八月十八日、十九日中央公民館全体で行う予定。あの太平洋戦争に向かつて行った戦前から、戦争中のこと、戦後から今までを展示ツアーという形で歴史を学び考える企画が進んでいます。野田九条の会も積極的に参加。戦前までの事実と今を対比させようとチームを作つて取り組むことにしました。①戦前の教育勅語教育と今②国民に知らされない事実③朝鮮戦争からの自衛隊の変遷④ベトナム戦争と沖繩⑤憲法の変遷とアメリカのかかわり、この5チームで考えて行きます。取り組んでくださる方を募集中です。一緒に勉強しませんか。



3000万人署名締め切り迫る!

4月集計で1350万人超え
当会も5月末を目指します。
未提出分は ☎ 7129-4297 (田口)

いまもっとも注目すべきこと

吉田妙子

「他国の侵略より救うもつとも効果的な城壁は、正義である」憲法九条の意義を強調した第44代首相幣原喜重郎の言葉です。「無防備こそ最大の防壁。軍隊を持たないことで強くなつた」とは近隣国の紛争を終わらせノーベル平和賞を受賞したコスタリカ元大統領の言葉。そして映画「コスタリカの奇跡」の共同監督でもある社会学者は「政治指導者が憲法をよく一部でも書き換えようとする際は、その先にもつと抜本的な変化を起す」と伝えている。

「政治指導者が憲法をよく一部でも書き換えようとする際は、その先にもつと抜本的な変化を起す」と伝えている。

現政権は国会、国民を欺きながら国民の命を守るなどと唱えています。まさに正義を踏みにじつており、憲法改正を語る資格などないのでは。・自衛隊の憲法への明記は戦争への道であることを一人でも多くの方に伝えたい。

こそうとしていると考え、るべきである」という。聖書には「正義が造り出すものはとこしえの平和であり、正義が生み出すものはとこしえに安らかな信頼である」とあります。

① 今月の予定

6月3日(日) 13:30 ~ 16:30

DVD 視聴とディスカッション
冤罪・死刑を考える! *あたいはやっちゃん*
南部梅郷公民館 南地域九条の会

6月9日(土) 13:30 ~ 16:00

DVD 視聴と例会
ETV 特集 「平和に生きる権利を求めて〜長沼事件と憲法檉のホール 集会室1 野田・九条の会

6月9日(土) 17:00 ~ 18:00

9の日 九条通信配布 雨天の場合は中止します。
行動 安倍9条改憲 NO! 3000万人署名
愛宕駅 東口 野田・九条の会

6月19日(火) 17:00 ~ 18:00

9の日 模擬国民投票と九条通信配布
行動 模擬国民投票 "あなたはどうか考えますか集团的自衛権"
梅郷駅 西口 野田・九条の会

6月20日(水) 14:00 ~ 16:00

おしゃべりカフェ 「政治や憲法のこと気軽に
参加ご希望の方は連絡ください。 おしゃべりしませんか?」
☎ 7129-4297 (田口) 野田・九条の会

6月23日(土) 13:30 ~ 16:30

DVD 上映とディスカッション = 働き方改革というけれど =
「過労死と闘い、命を守る 弁護士 川入 博」
野田市総合福祉会館 子どもの未来を語る会

6月29日(金) 14:00 ~ 15:00

9の日 若者に呼びかけと九条通信配布
行動 模擬国民投票 "あなたはどうか考えますか集团的自衛権"
運河ふれあい橋 理科大側 野田・九条の会

森友問題

学校法人森友学園の国有地取引に関わる公文書の改ざんが大問題となり昨年三月七日、財務省近畿財務局の職員が自ら命を絶った。当時財務省理財局長だった佐川宣寿前国税庁長官は、職員の自殺に「残念だ」と表情を変えずに答えるだけであった。国有地は売却が原則だが森友学園とは十年間の貸付でその間に売却するという特例の取引が結ばれていた。

改ざん前の公文書の中には安倍首相夫人昭恵氏の名前も記されていたが関係者とともに削除されていた。産経の記事は昭恵夫人は籠池理事長による教育勅語を基とした教育方針に感涙したと報じている。

安倍首相の「私や妻が関係していたということであれば間違いなく総理大臣も国会議員もやめる」との答弁は公文書の改ざんから職員の自殺また籠池夫妻の長期の拘留、さらには国会に於ける佐川氏の不誠実な答弁など派生させ国民の不信感は極限に達している。安倍首相が言う膿を出し切るとは改ざん前の公文書を速やかに国会へ提出し、関係者の証人喚問で全容を明らかにすることだ。

加計問題

疑惑が解明されないまま今年四月、愛媛県今治市に獣医学部を開校した学校法人加計学園についても疑惑は深まるばかりだ。構造改革特区として今治市が15回も申請し落選していたのに、国家戦略特区に変えたら突破口が開いた。この特区の諮問会議議長は安倍首相であり認定・主導ができる都合のいい仕組みになっている。加計学園の関係者は愛媛県、今治市の職員とともに首相官邸で柳瀬首相秘書官と面会している。柳瀬氏は国会の参考人質疑で県、市の職員とは会った記憶がないと答弁しているが、職員の記録には首相案件と語ったことが記されている。

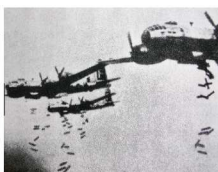
これら二つの学校法人に関わる疑惑には、国民の75%以上が納得できていない。日本国憲法の前文に「国政は国民の厳粛な信託による」とある。しかし安倍政権はその真逆となるウソにうそを重ね、善良な職員、人々を巻き込み国民の知る権利を奪い、国政を私物化している。

こんな悪政の安倍政権をいつまでも許してはいけない。 —————

6月は好きになれない

降り続く雨をのぞいても、私の誕生日でも好きになれない。

■1942年6月 身重の母と私たち姉妹三人を残して父は南方へ出征。戦病死した。二歳半の私に記憶はない。疎開した岡山市はアメ



リカのB29の空襲で焼け野が原になった。焼跡に降る雨は煙臭く生暖かった。夜中の空襲警報のたびに暗闇のなかで身支度をし、それぞれの着替えをつめたリュックを背負い防空壕へ逃げる。シリアの子どもたちの恐怖にはおよばないが、降り注ぐ焼夷弾に燃え盛る家並、よく生き延びたと思う。幼い子ども四人を懸命に守った母に感謝する

■1945年6月18日 沖縄ではひめゆり学徒隊（女学校の生徒222名、18名の教職員）に突然解散命令が出され、25日までに80%を超える隊

員（集団自決をふくむ）がぎせいになった。



■1960年6月15日 日米安全保障条約改定に反対する闘争のなかで、樺美智子さんが亡くなった。評価は分かれるが地方の学生たちにはインパクトが強かった。若手の大学教職員も連日のデモに加わり、農村を岸降ろしの署名集めに廻った。60年安保の終わりの始まりでもあった。岸内閣は5月19日国会で条約改定を強行採決後、自然成立を待ち「安保条約の評価は50年後に決まる」と言い残して退陣した。



■58年後の現在 結果は沖縄であり辺野古であり、オスプレイ、イラク、南スーダン等々。昭和は美しく輝かしいばかりではない。

野崎弘子